

IMASEN REPORT 16

第80期報告書

2016.4.1-2017.3.31

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市字柿畑1番地
TEL (0568) 67-1211 (代表)

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第80期の業績について、ご報告させていただきます。



代表取締役会長

若山 恭二

代表取締役社長執行役員

足立 隆

経営理念

想像力を豊かにし、これまでに存在しない全く新しい製品・サービスを創造し、これをより安く、より速く、世の中に提供することで、人々の豊かな暮らしに貢献いたします。

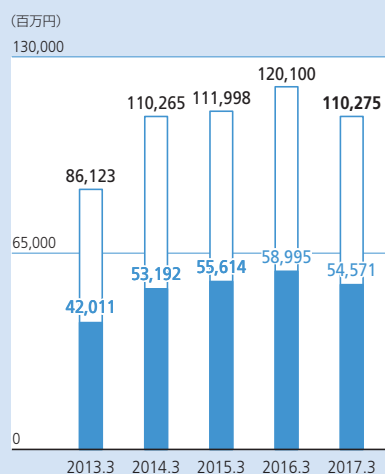
第80期 ポイント

- 1 国内の自動車部品の生産減少や為替の影響などにより、売上高は前期比8.2%の減収となりました。
- 2 為替の影響などにより、営業利益は前期比16.6%の減益となりました。
- 3 前期に計上した米国法人における2国間協定の法人税の減少により、当期純利益^{*}は前期比77.5%の増益となりました。

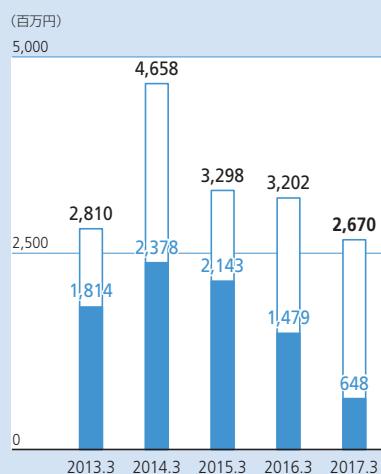
財務ハイライト 第80期 (2017年3月期)

詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 www.imasen.co.jp

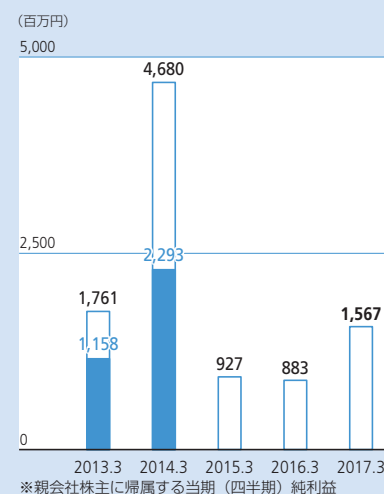
売上高



営業利益



当期(四半期)純利益^{*}



特集企画「IMASENを知る」第18弾

トップインタビュー

新社長 足立 隆に聞く「IMASENの将来」

生年月日 1956年10月29日

出身地 岐阜県

出身校 中部大学 電子工学科卒業

経歴 1979年4月 当社入社

2001年4月 生産管理部部長

2003年4月 購買部部長

2006年4月 第二営業部部長

2009年4月 IMTC（タイ）取締役社長

2011年6月 取締役

2012年6月 GICO（中国広州） 董事長 兼 総経理・WICO（中国武漢） 董事長

2013年6月 常務取締役

2016年6月 取締役専務執行役員

2017年6月 代表取締役社長執行役員

趣味 読書（好きなジャンルは起業家の自叙伝）



社長就任にあたっての抱負は？

当社は1939年に株式会社として設立以来、日本のモータリゼーションの進展に対応し、自動車用ホーン、ランプ、シートアジャスタ、電子ユニット等の多様な製品開発を積極的に進め、自動車メーカーのよきパートナーとして、今日までの信頼と実績を築いてまいりました。これもひとえにお客様、株主の皆様、地域社会の皆様、および諸先輩の方々のお力添えによるものであり、心から感謝しています。

創業の原点である「よい品を、より安く、より速く」という社是を大切にしながら、企業として大きく変革を進め、企業価値をさらに高めていくことが私の役目であると考えています。

私はよく、自ら起業し、その会社を大きく育てられた方々の自叙伝を読みますが、そうした方々の多くが「夢は必ず叶う」とおっしゃっています。夢（目標）を達成するまで執念を持ち、徹底的に努力し、そして諦めないことで「夢は必ず叶う」というものです。

IMASENの従業員がベクトルを合わせ、努力し、そして目標を達成したときには皆で喜びを分かち合えるような会社にしていきたいと考えています。



会社が成長していくための具体的な考え方は？

IMASENを取り巻く経営環境は自動車業界再編、グローバルでの大手部品メーカーとの競争、コスト競争激化など、非常に厳しい状況ですが当社にはグループ全体で5000人を超える従

業員がいますので、全員で力を合わせ、業務を遂行すれば必ず成長していくことができると考えています。

社長就任にあたり、私は次の4つの基本姿勢を徹底して従業員に実践させたいと考えています。それは「熱意」、「執念」、「徹底」、「団結」です。

『熱意』は物事に対する意気込みで、課題意識と目的意識から生まれます。『熱意』を外に出すことで相手から組織に伝わり、最終的には自分に返ってきます。全員で『熱意』を持って勝ち残る企業を創ってまいります。

『執念』はある一つのことを深く思いつめる心です。『執念』を持ち、「すぐやる。必ずやる。出来るまでやる。」を基本姿勢として会社を成長させていきたいと考えています。

さらに、誰がいつどのような状況において、何がどうなっているのか、事前情報がなくてもよく理解し把握できる「見える化」を『徹底』し、ロスなき管理を実施することで、全員が共通の目的・目標をもってベクトルを合わせ、『団結』してまいります。

これらの「熱意」、「執念」、「徹底」、「団結」の4つで、IMASENの体質を変革し、将来に向けて成長を果たしてまいります。

株主・投資家の皆様に対する取り組みは？

現在のIMASENの株価は、市場の影響もありますが、まだ低い水準にあると考えています。私も藤掛前社長に引き続き、業績の向上に努めるとともに積極的なIR活動に取り組んでまいります。

配当政策の基本方針としては、株主の皆様への利益還元と将来の事業展開に備えて企業体質強化のバランスを考慮しつつ、安定的な配当を業績に応じて継続的に行うこととしています。今後も更なる業績向上に取り組み、厳しい経営環境下ですが、利益を増やし、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

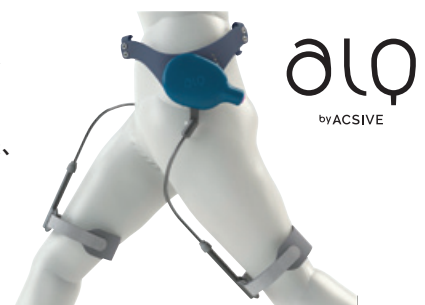
トピックス

新製品「aLQ」発売開始

当社は、無動力歩行アシスト「aLQ by ACSIVE」（通称：アルク）を開発し、本年6月より販売を開始いたしました。当初は愛知県、東京都で販売を開始し、順次全国へ販売を展開してまいります。

当社が2014年9月に発売した『ACSIVE』は「無動力の歩行支援機」で、発売以来、病気等で歩行に不自由を感じている多くの方々を中心に愛用いただいております。

この度発売を決定した「aLQ」は、この『ACSIVE』のノウハウを活かし、健康を目指す方に手軽に装着しやすくした歩行アシストです。高齢層の方々にも「aLQ」を装着していただくことで、今以上にウォーキングやスポーツをアクティブに楽しんでいただけます。ぜひ「aLQ」にご注目ください。



問い合わせ先：0120-80-2721 受付時間 8:30-17:00 月曜日~金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2016年3月31日)	当期末 (2017年3月31日)
資産の部		
流動資産	52,553	50,811
固定資産	33,758	31,222
資産合計	86,311	82,033
負債の部		
流動負債	28,981	26,720
固定負債	11,449	8,978
負債合計	40,430	35,698
純資産の部		
株主資本	41,764	42,717
その他の包括利益累計額	3,698	3,192
非支配株主持分	417	425
純資産合計	45,881	46,335
負債純資産合計	86,311	82,033

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
売上高	120,100	110,275
売上原価	106,524	98,183
売上総利益	13,576	12,091
販売費及び一般管理費	10,373	9,421
営業利益	3,202	2,670
営業外収益	492	412
営業外費用	946	1,036
経常利益	2,747	2,047
特別利益	27	49
特別損失	82	96
税金等調整前当期純利益	2,693	2,000
法人税、住民税及び事業税	1,909	809
法人税等調整額	△157	△442
当期純利益	940	1,633
非支配株主に帰属する当期純利益	57	65
親会社株主に帰属する当期純利益	883	1,567

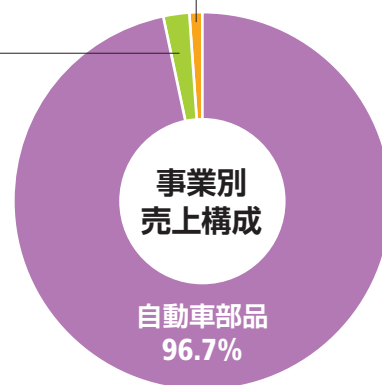
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,569	4,182
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,139	△2,634
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,849	△3,538
現金及び現金同等物に係る 換算差額	78	△457
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,341	△2,448
現金及び現金同等物の 期首残高	13,473	12,131
現金及び現金同等物の 期末残高	12,131	9,683

福祉機器
1.0%

ワイヤーハーネス
2.3%



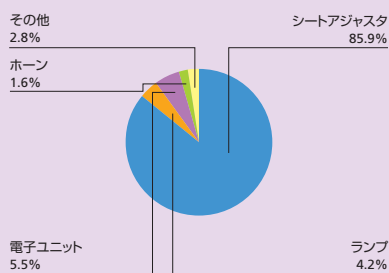
自動車部品関連事業

売上高 106,670百万円
(前期比 8.0%減)

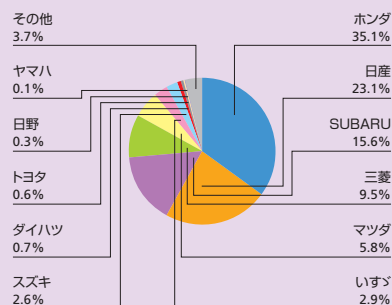
営業利益 2,842百万円
(前期比 11.3%減)

国内の生産減少や為替の影響
などにより減収減益となりました。

■ 製品別売上高構成



■ 販売先系列別売上高構成



会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	株式会社今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.
設立	1939年2月1日
資本金	6,134百万円
主な事業内容	自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売
従業員数	5,101名(連結)
本社所在地	愛知県犬山市字柿畑1番地
営業所及び開発拠点	東京支店/栃木テクニカルセンター 広島テクニカルセンター IMASENグローバル開発・研修センター/ドイツ支店
工場	名古屋工場/岐阜工場/八百津工場 春里工場/可児工場/岡山工場/広島工場 (株式会社九州イマセン)
海外拠点	台湾/フィリピン/米国/中国/タイ/インド メキシコ/インドネシア

役員 (2017年6月21日現在)

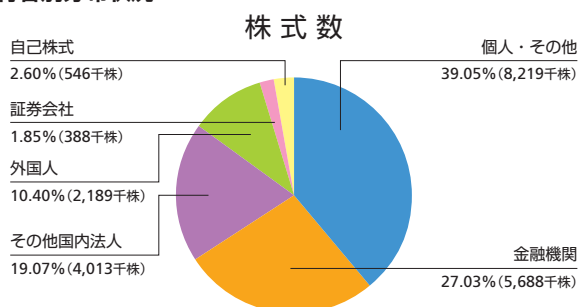
代表取締役会長	若山 恭二
代表取締役社長執行役員	足立 隆
取締役常務執行役員	富田 雅博
取締役常務執行役員	佐竹 克幸
取締役執行役員	櫻井 孝充
取締役執行役員	丹羽 良仁
社外取締役	永井 康雄
社外取締役	鈴木 雄二
常勤監査役	真下 英敏
監査役	阿部 隆行
社外監査役	宮澤 俊夫
社外監査役	長谷川 周義

株式情報 (2017年3月31日現在)

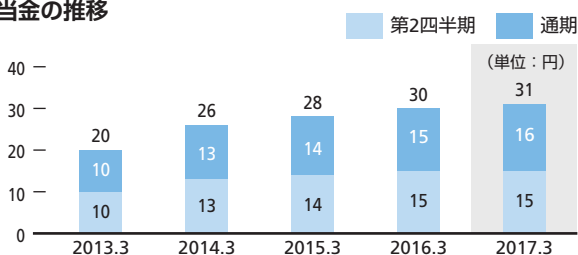
株式の状況

発行可能株式総数	49,195,000株
発行済株式の総数	21,046,785株
株主数	7,043名

所有者別分布状況



配当金の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	1,066	5.20
I M A S E N 取引先持株会	871	4.25
ヤマハ発動機株式会社	613	2.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	605	2.95
今仙電機従業員持株会	593	2.89
株式会社第三銀行	505	2.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	459	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	457	2.22
三井住友信託銀行株式会社	374	1.82
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	340	1.66

※1. 当社は自己株式を546千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※2. 持株比率は自己株式(546千株)を控除して計算しております。

当社ホームページのご案内



様々な情報をホームページで
ご覧になれます。

www.imasen.co.jp

同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
証券コード	7266 (東京・名古屋証券取引所市場第一部)